

各 位

会 社 名 株式会社小僧寿し
代表者名 代表取締役社長 大西 好祐
(JASDAQコード9973)
問合せ先 執行役員 管理本部長 桔梗 正裕
(電話番号 03-6226-4400)

平成 26 年 12 月期第 2 四半期決算短信の公表および四半期報告書提出の延期に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 8 月 14 日に開示予定の平成 26 年第 2 四半期決算短信および四半期報告書の公表につきまして、下記のとおり、延期となる見通しとなりましたのでお知らせいたします。

本適時開示については、代表取締役社長である大西好祐は、「一方的な見解である」等の理由から、開示に反対の意思を表明しております。これに対し、当社は開示内容は確認のできた事実について記載したものであり、また、本適時開示について取締役会での決議を経ていることから、本適時開示に問題はないものと判断しております。

1. 決算発表延期の理由

当社では、第 2 四半期決算作業過程の平成 26 年 8 月 1 日において、当社代表取締役社長が、自己の役員報酬に対して東京地方裁判所より債権差押命令を受けておりかつ自ら当社代表取締役社長としての名をもって同裁判所に提出した債権の存否等に関する陳述書に無報酬である旨を記載していたにも関わらず、役員報酬名目で平成 26 年 5 月 14 日に担当部門である総務人事部を通さずに 4,500 万円を当社口座から代表取締役社長個人の口座に振込むよう指示し、かかる振込が実行されていた事実が判明しました。かかる状況を受け、当社は代表取締役社長に就任した平成 25 年 12 月 3 日の以降の入出金全件につきまして、会計監査人である東陽監査法人と協議のうえ、当社として平成 25 年 12 月 3 日から平成 26 年 7 月 31 日までの入出金全件データを基に、個々の入出金の適正性について確認作業を進める必要があると判断いたしました。

また、当社グループでは平成 25 年 10 月に会社分割により、株式会社東京小僧寿しとして直営店舗の営業機能を分社化したことに伴って、新設分割により新たに発生した連結会社間取引での会計処理が必要となりました。かかる中で時期を同じくして会計システムの新システムへの移行を進めたこともあって、店舗システムと会計新システムとの連動の不備が生じており、平成 25 年 12 月期決算の会計処理の適用について再検討を行っている状況であります。平成 25 年度決算の会計処理について何らかの修正の必要性が認められた場合、改めて当該決算短信の修正について開示を行う予定であります。

以上の影響が、平成 25 年 12 月期決算に影響が及ぶものであるかを含めて、その入出金が正しい判断のもと行われたのかについて判断するとともに、これらの作業にかかる日数、その後の東陽監査法人による四半期レビュー実施期間を考慮いたしますと、平成 26 年 12 月期第 2 四半期決算確定にはしばらくの時間を要すると判断したことから、8 月 14 日までに第 2 四半期決算短信の公表及び四半期報告書の提出が不可能であると判断いたしました。

2. 今後の見通しについて

当社では現在入出金全件データを基に、個々の入出金の適正性について、当該入出金に関わっていない者によるチェックを行っている段階であります。しかしながら件数も多いことから相応の期間が必要であると考えられます。また、平成 26 年 12 月期第 2 四半期の四半期レビューの実施期間中でありましたが、上記の問題が発覚し対応を始めたことから、入出金全件チェックについての追加レビュー手続が必要となる見込みであります。

当社といたしましては、全社を挙げて、上記入出金全件チェックを可及的速やかに完了させるべく進めております。新たな第 2 四半期決算短信及び四半期報告書の公表及び提出予定日につきましては、上記入出金全件チェック及び四半期レビューが完了の目処が付き次第速やかに開示いたします。

当社では、今般の開示に先立ち、平成26年6月20日に「社内調査委員会からの調査報告書の受領について」を、また平成26年7月25日に「ライツ・オフリングに関するお知らせ」における記載内容の訂正及び調査委員会の設置について」を公表しており、今後とも当社の管理体制全般の整備を進めてまいります。

株主の皆様をはじめ関係各位には、多大なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

以 上